

## 令和5年度予算 藤島地域まちづくり未来事業一覧

No.	事業名	事業内容	R5当初 予算額 (千円)
<b>1. 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現</b>			<b>6,774</b>
1	藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業	①オーガニック・エコ産地拡大→土壌分析指導及び地域内農業者への有機栽培講習会。 ②有機農産物等首都圏交流推進→首都圏消費者との交流と販路拡大。 ③安全安心農業イメージアップ→GAP認証の取得の啓発や食品安全・環境保全等の強化 ④地産地消の推進→サンサン畑の会への補助。納入野菜の確保や不足野菜の試験栽培等の支援 ⑤田んぼの生き物調査→藤島地域内の3小学校での田んぼの生き物調査の実施	956
2	藤島農産物元気事業	藤島農産物元気食楽部の活動支援を行う。①スマート農業。②低コスト。③省力化稲作技術の実証及び技術支援。④土壌分析及び土づくりの徹底による高品質農産物の生産。⑤イベント出店。⑥技術向上のための講習会等の開催。⑦地場農産物の加工品開発	1,874
3	庄内農業高等学校地域連携事業	実業高校としての特色ある取り組みや地元に着し地域を担う人材育成につながる取り組みを支援。地域連携協議会への補助。食文化創造都市の魅力体験、6次産業化支援、庄農うどん大作戦支援、福祉団体と連携した交流農園活動など	1,000
4	藤島地域農の魅力拡大事業（ふるさと納税インセンティブ）	①若手農業者美味しいごはんコンクール事業の開催。②関係の深い首都圏大学学生による鶴岡産米のPR活動の展開。③ふるさと返礼品のブラッシュアップ	2,944
<b>2. 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進</b>			<b>14,382</b>
5	藤島歴史公園「Hisu花」魅力発信事業	ふじ棚のライトアップやオフシーズンのふじ棚などへのイルミネーションを設置し、交流人口の拡大と地域の賑わい創出を図る。①イルミネーション設置（委託事業）、イルミネーションの更新、電気資材購入、鶴岡産米イルミネーションPR看板の製作委託	4,511
6	藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり事業	歴史公園を交流拠点とするためのワークショップの開催とイルミネーションイベントの実施。H30から活動しているHisu花ワークショップが主体となり実施するイルミネーションイベントへの支援を行う。	300
7	東田川文化記念館利活用事業	歴史的価値の理解を深め、住民が主体となって活用するためのハード整備とソフト事業の展開。①郡役所シンポジウムの開催。②利活用検討委員会の開催。③郷土サークルへの支援	729
8	藤島花咲かせ活動支援事業	藤島歴史公園等の藤棚や花壇の管理ボランティア支援。①藤棚管理技術指導業務委託。②藤棚育成・管理団体の育成支援。③・藤管理エキスパート養成支援。④花咲かせ隊と庄内農業高等学校の花苗定植活動支援	659
9	藤棚の整備事業	老朽化した藤棚の計画的な修繕。ふじのまちにふさわしい環境整備として藤島体育館周辺の藤棚の老朽度の高い藤棚を選定し、25.2m(7スパン)分の修繕を実施する。	3,600
10	ふじの里づくり事業	町内会案内掲示板の塗装修繕事業。ふじのまちにふさわしい環境整備。全町内会分を計画的に修繕(5町内会分を実施)	193
11	鶴岡伝統芸能祭開催事業	鶴岡各地の伝統芸能団体を招致しての伝統芸能祭の開催。伝統芸能祭を主催する夏まつり実行委員会への補助。	790
12	藤島地域里山整備活性化事業	歴史ある添川地区の里山である東部山麓の自然資源や文化資源を活用した活動を強化するため、歴史探訪散策路等の整備を実施する。①地元が行う散策路への原材料等の支給。	100
13	ふじのまちかど整備事業	道路の老朽化藤棚の整備事業。全25基の木製藤棚をメッキ鋼製に交換していく。R5は2期分として6基の交換を行う。【投資的経費】	3,500
<b>3. 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築</b>			<b>5,086</b>
14	長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業	長沼・八栄島地区への地域公共交通導入に向けた調査事業と最適な地域公共交通の運行支援。①地域が主体となり運営するデマンド型タクシーの実証運行3年目を支援する。(補助金の交付)	3,248
15	藤島地域公共交通再編事業	路線バスの廃止を視野に入れながら、既存の地域公共交通網を含めた藤島地域全体の公共交通の再編に取り組む。R3年度の調査結果を基に地元での検討を重ねる。引き続きコンサルティングのアドバイスを受けながら、藤島地域に最適な地域公共交通を導入していく。	797
16	藤島文厚エリア検討事業	藤島中学校の建替えを機に、中心市街地に立地する老朽化した文教厚生に関する施設(中学校、児童館、武道館、旧福祉センター他)をエリア全体で総合的な配置計画を検討する。①教育委員会主体の藤島地域教育振興会議と連携しながら、R5は内部検討を中心に、専門家のアドバイスを受けながら、整備計画の基礎資料づくりを進める。	411
17	長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業	健康福祉施設としてすべての年代から利用してもらえる温泉を目指すため、特にフレイル予防事業で対象とならなかった子育て世代の親や家族に向けた取り組みを行う。①託児入浴の拡充。②子育て講演、育児相談の実施。③若者家族向けイベントの開催。④健康事業の強化。	630
※ハード＝投資的経費(工事請負費、実施設計業務委託料、工事管理業務委託料、100万円以上の備品)			<b>26,242</b>